

2021年3月期 中間決算について

2020年 11月10日
JFE鋼板株式会社

2020年9月中間期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | 特別損益 | 当期純利益 |
|------------|--------|--------|------|------|-------|
| | 百万円 | % | | | |
| 2020年9月中間期 | 25,347 | △ 21.8 | 105 | 2 | △ 1 |
| 2019年9月中間期 | 32,413 | 3.5 | 382 | △ 48 | 165 |

注 連結子会社数 2020年9月中間期 5社、2019年9月中間期 5社
持分法適用関連会社数 2020年9月中間期 0社、2019年9月中間期 1社

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | 特別損益 | 当期純利益 |
|------------|--------|--------|------|------|-------|
| | 百万円 | % | | | |
| 2020年9月中間期 | 21,918 | △ 18.3 | 371 | 2 | 307 |
| 2019年9月中間期 | 26,837 | △ 2.6 | 71 | △ 47 | 19 |

【当中間期の概況と損益】

当社グループの当中間期の売上高は、消費税増税による需要低迷に加え新型コロナ拡大の影響を受け25,347百万円(前年同期比△7,066百万円、△21.8%)と前年同期に対し大幅な減少となりました。主に子会社の工事関係部門における大型物件・工事等の延期・中止が影響しております。

損益面につきましては、販売減による収益の悪化を主として鋼板部門において販売価格の改善、製造コストや管理費の削減等で補い、経常利益は105百万円(前年同期比△277百万円)、当期純利益は△1百万円(前年同期比△164百万円)となりました。

【当期の見通し】

新型コロナウイルス感染拡大の影響は本年下期から2021年にかけて本格化するものと見込んでおります。この需要低迷は常態化する可能性があり、当社を取巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されます。こうした環境下で対処すべき課題として以下の施策を展開し、収益を確保してまいります。

1) 製造安定化・コストダウンの実施

操業・設備の更なる安定化による生産性向上を図り、製造コスト・管理費の削減を引き続き行ってまいります。

2) 販売価格の改善

お客様にご理解をいただきながら行って参ります。

3) 京浜カラー製造ライン休止の前倒しを検討し、製造ラインの運用の最適化を実施します。

4) 高付加価値商品の拡販、新規開発商品による差別化等で収益拡大を図ります。

5) 子会社の工事関係部門については営業強化、コストダウンを推進し、黒字化を目指します。

以上